

## 活躍する出農生

多くの生徒が、さまざまな分野で活躍していますが、今月は各学年から一人ずつ紹介したいと思います。

## 共に育つ

植物科学科三年  
石川文代

人生っていつのは、摘心みたいなものかなと、プロジェクトをふり返ってみて思いました。摘心が悪いことではないですが、摘心＝失敗、挫折。とたとえてみれば、植物は摘心をすることで草姿を良くしたり、株張りを良くすることが出来る。ならば人間の場合は？失敗することで新しい案が浮かんだり、更に質の良いものが作れたりする。失敗することでも育つ自分がある。プロジェクトを通して感じたのは、何かを育てる(作る)ことは、自分を成長させることと同じ”ということです。

総合実習とは違う角度から

植物を相手にすることができてあらゆる面で成長させてもらえたなと思います。

プロジェクトを始める前と今を比べると、知識も経験も今の方が確実に多いです。一人でやったというところで、責任感も忍耐力も付いたと思います。今後進学して更に深く研究していくと共に、次は協調性を身につけていきたいなと思っています。



## 努力・笑顔・自信

動物科学科二年  
伊藤裕美子

私は、二月四日のチャレンジショップを担当しました。私たちは今までにやったことのない餅つきを企画しました。餅つきをするには、動物科以外の先生方や保健所からも許可を得なければならず、前日まで餅つきの計画や準備、許可を得る作業がとても大変でした。



ショップを盛り上げた餅つき

当日、寒い中沢山のお客さんに来てもらいました。餅つきのほうでは、お客さんと交流することができ、とてもよかったと思います。駐車場やレジでも全員が笑顔を絶やすことなく楽しく接客することができました。これも、自分達の作り上げたショップに自信があったからです。

私はチャレンジショップを体験して、努力をすることの大切さを学び、その努力の結果、自信が生まれることを知りました。今後、事前の努力により当日のショップに笑顔があふれるとよいと思います。



チャレンジショップ  
ロゴマーク

## 食へ物に感謝

動物科学科一年  
岡田 絵里

一年動物科学科では、鳥根大学との連携で鶏骨鶏を用いて研究を行いました。内容はDHA(トコトコ全サエノ酸)を多く含む魚油を鶏骨鶏の餌に添加し、卵や肉にDHAは含まれるか、また、魚油の匂いが無いかを調査するといったものでした。

卵については結果がでたので肉の調査をすることになり、一年動物科の生徒全員で鶏骨鶏のと殺と羽抜きを行うことになりました。初めての経験で先生の実演を見て泣く人も多くいました。一人ずつと殺し、血抜き羽抜きをしました。また、



研究中の  
ウコッケイ

その鶏骨鶏を唐揚げにして食べました。自分達の手でと殺し、食べるということはとても衝撃的なものでした。私達はいつも当然のように鶏肉を食べますが、鶏肉はただできるものではなく、命を奪って得ているものだということを改めて思い知らされました。そして、日々食へ物に感謝していかなければならなっていくと思えました。

## 心の基礎体力

学校長 佐野明

ある人に、出雲農林高校では心の基礎体力をどう養うかと問われました。そこで、本校の取り組みを話しました。入学直後の宿泊研修でクラ作り、進路学習で自分探し、一人一動物一研究などで得意技作り、プロジェクト活動で自分作り、チャレンジショップで実践作りを進めている。そして、自分が自分をつくる」ということを生徒に語りかけている」と紹介しておきました。

今、傷つくことを怖がり過ぎたり、楽に楽に生きようとする傾向があります。人間が成長するといつことは傷を負うといつことです。ぶつかりたり、転んだり、切磋琢磨することで、心の基礎体力ができます。小さな傷の集積が、しなやかで強い心、がんばりのきく優しい心を生みだします。これが、若者が成長するといつことです。

## 3月の行事予定

日	曜	項 目
1	水	卒業式
2	木	S C来校
3	金	国際貢献旅行団出発(ウズベキスタ、9日まで)
4	土	チャレンジショップ開店日
5	日	
6	月	高校入試準備(生徒、午後放課)
7	火	高校入試(学力検査)(生徒、休業日)
8	水	高校入試(面接)(生徒、休業日)
9	木	
10	金	追認考査
11	土	チャレンジショップ開店日
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	チャレンジショップ開店日
16	木	
17	金	高校入試合格発表(10時)
18	土	チャレンジショップ開店日
19	日	
20	月	
21	火	春分の日
22	水	
23	木	
24	金	終業式、離任任式
25	土	
26	日	WL全国高校選抜(長崎~28)
27	月	
28	火	一日入学(入学予定者事前指導)
29	水	
30	木	
31	金	

SC: スクールカウンセラー WL: ウェイトトレーニング  
この月報は[www.shimanet.ed.jp/lzuno/](http://www.shimanet.ed.jp/lzuno/)でも見られます

## 親子で成長した二年間

二年保護者 佐藤 繁

月日が経つのは早いものです。息子が高校に入学してから二年が経とうとしています。即、野球部に入部しました。しかし、中学の時とは違い、待っていたのは厳しくて辛い練習、休みもありません。でも、自分で選んだ道です。私も甘い声も掛けませんし、誉めることもありません。息子にとって、この「野球」という二文字が将来何か役立つのではと思っております。

心の中では、ずいぶん成長した息子にガンバの干ルを送っています。そして、私自身もこの役(評議員)を引き受けて二年経ちました。皆さんがい方ばかりで色々なことが勉強になり、とても楽しくさせて頂きました。この役をやって何よりも農林の良さを知ることができ、大変嬉しく思いました。息子と共にこの二年で大きく成長し、あと一年お互い頑張っていこうと思っております。

## 多彩な活動の一年

P T A 評議員会

二月十二日(日)、本校会議室にて第四回目のP T A評議員会が評議員十二名と教職員五名の参加により開催された。

農業祭でのソパウンドン店の会計報告委託事業、家庭教育学習機会の充実、事業の報告などに続き、次年度会長、役員の出方法について協議がなされた。

最後に各評議員より一年間の振り返りがなされたが、「多くの体験できたおかげで、学校や子供をよく知ることができた。たくさんのお会いがあった。」

た。など、全員から良い評価をいただいた。

今年度の評議員会は今回で終了しました。評議員の皆様、数々の行事に積極的に協力していただき、ありがとうございました。来年度も、よろしくお願ひします。

会議の様子



発表の様子



## 本校P T A事例発表

高P連中央指導者研修会 去る十二月四日(日)浜田市「いわみ」を会場に、島根県学校P T A連合会合同の研修会が開催され、県内のP T A役員ら約120名が事例発表を通じて活動のあり方について理解を深めました。午後の高P連の分科会では、稲田P T A会長が開かれた学校づくりとP T Aの役割」と題して発表を行いました。

## 保健室より

今年例年より早い時期にインフルエンザが流行し始めました。1月20日からインフルエンザによる欠席が出ています。1月末までは2年生での罹患率が高かったのですが、現在は落ち着いています。地域の方ではまだまだ流行しているようですので、「バランスよく栄養をとる」、「うがい・手洗いをしっかりする」などして予防してください。また、インフルエンザに罹ったと思われる時は「早めに医療機関を受診」して「安静にして休養」をとりましょう。

病院でインフルエンザと診断された場合は学校に報告してください。



## 編集後記

三月三日から一週間、六名の生徒がウズベキスタンを訪れます。 그리스スタン・カレッジ農業高校への訪問や、ウズベキスタンによるスポーツ交流、記念植樹が予定されています。現在、生徒たちは事前勉強に励んでいます。

下写真は、二月十五日に食品科学科(二年生)が実習で製作した和菓子を撮ったものです。実習室には一足早い春が来ていましたよ。



写真上:ウズベキスタンの英雄ティムールが眠るグラー・アミール廟



写真右:生徒が作った和菓子